

## ふるまぎ里山ミュージアム構想

### ～流山の里山を守る～



ふるまぎ里山ミュージアムを実現させる会共同代表  
梶 聡（かし あきら）

## 流山市北部



## 流山の緑の現状

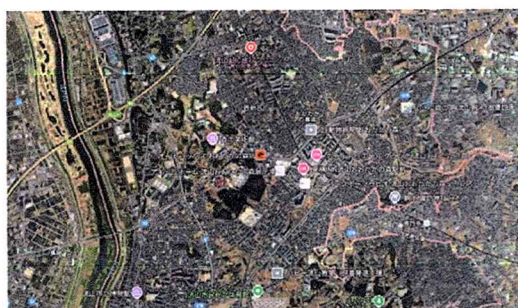
・緑被率＝自然的土地利用＋街路樹や個人の庭を含む

1995年 49.7%  
2004年 42.2%  
2011年 36.9%  
2018年 40.3%  
2023年 38.06%

・森林率＝森林面積

1980年 11.5%  
1990年 11.0%  
2000年 10.3%  
2010年 7.4%  
2015年 7.7%  
2020年 7.1%

## 流山市中部



## つくばエクスプレス沿線開発の区画整理

|           |       |              |
|-----------|-------|--------------|
| 新市街地地区    | 275ha | 計画人口 28,600人 |
| 西平井・鱒ヶ崎地区 | 40ha  | 計画人口 4,000人  |
| 鱒ヶ崎・思井地区  | 12ha  | 計画人口 1,000人  |
| 運動公園周辺地区  | 232ha | 計画人口 21,400人 |
| 木地区       | 68ha  | 計画人口 6,000人  |

⇒ 流山市の面積の約18%

## 流山市南部・東部



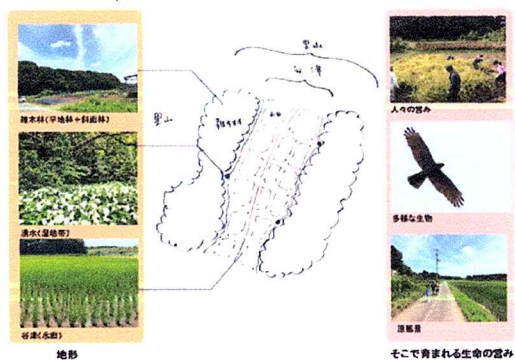
## 古間木---流山市に残された最後の里山



## 里山は人工の自然



## 里山の構成



## 里山は人工の自然

- 里山の土地利用
  - 低地: 水田(谷津田)
  - 丘陵: 畑、村
  - 山: 雑木林
- 雑木林の資源を利用
  - 落ち葉、下草: 水田や畑の肥料
  - 木材: 建築資材
  - 果実、キノコ: 食用

## 里山とは何か？

- 里山の雑木林 — 里山
  - 草原
  - 小川
  - ため池
  - 田んぼ
  - 畑
  - 屋敷林
  - 神社・寺
- 里地 = 里山

## 里山は多様な生き物の棲家

- 水田、小川、ため池: 湿地環境



## 里山は多様な生き物の棲家

・草原、畑： 草原環境



## 生物多様性ながれやま戦略

### 【市野谷の森地区】

- 1 市野谷の森 (通称：おおたかの森)
- 2 市野谷水鳥の池
- 3 西初石小鳥の森
- 4 稲荷神社裏の谷津 (西初石)
- 5 大堀川

### 【利根運河地区】

- 6 利根運河
- 7 理窓会記念自然公園

### 【新川耕地西地区】

- 8 西深井北西部

### 【宮園地区】

- 9 みやぞの野鳥の池、坂川、熊野神社  
周辺の森
- 10 にしひらい水鳥の池

### 【古間木地区】

- 11 芝崎小鳥の森
- 12 野々下水辺公園周辺
- 13 総合運動公園周辺

## 里山は多様な生き物の棲家

・雑木林： 低木林、中木林、高木林



## ふるまぎ里山ミュージアム構想

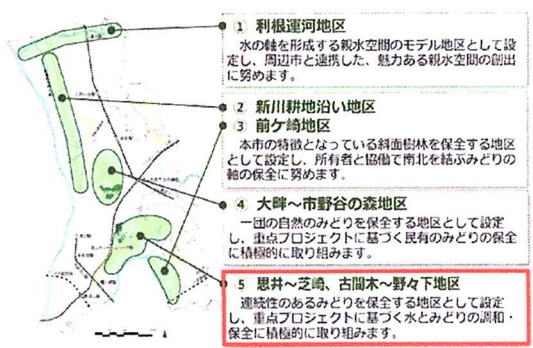
田んぼと雑木林があってそこに生命の営みがある場  
里山そのままをミュージアムのように味わう場  
使いながら受け継いでいく場



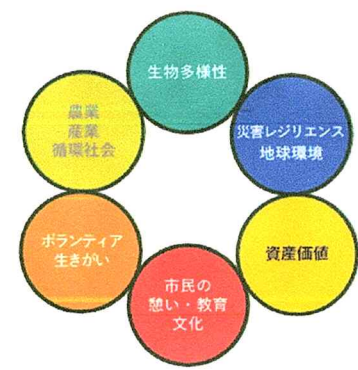
### ふるまぎ里山ミュージアムでの体験イメージ例

虫取り・自然散策・市民農園・農業体験・森林整備ボランティア・環境教育イベントなどの日常／非日常利用

## みどりの基本計画



## ふるまぎ里山ミュージアムの6つの視野



## 古間木の里山を保全することの効果



### 同じ業者の野田市の芝生圃場



## 古間木の里山消失の危機

(1)里山が消失する

- ① 休耕田の広がり・資材残土置き場の進出
- ② 芝生生産圃場の進出
- ③ 病院建設計画
- ④ 雑木林の放置



(2) 流山から里山が消えると

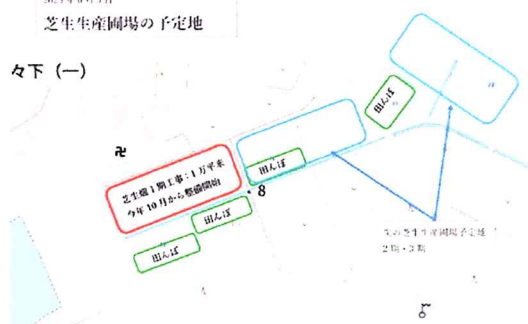
- ① 流山の原風景の喪失・治安の悪化
- ② 森林の衰退と谷津への盛土による液状化リスク
- ③ 生物多様性の低下
- ④ 温暖化の進展



## 古間木の芝生圃場の予定地

2025年6月5日  
芝生生産圃場の予定地

々下 (一)



## 芝生生産圃場の埋立



## 芝生圃場の問題点

(芝生圃場として運営する場合)

- ・農薬の多用による環境汚染
- ・湿地を埋め立てることによる土壌環境の変化  
⇒ 斜面林の崩壊のリスク

(何もせず放置する場合)

- ・耕作放棄地の増加による環境悪化
- ・地権者の収入減少

## 病院の建設計画



## 共同代表の紹介

- 樫 聡 水と緑の探偵団代表
- 川野佑樹 connect nagareyama
- 紺野竹夫 利根運河の生態系を守る会副会長
- 箕輪直明 ガーデンハーモニー株式会社代表取締役

## アクションプラン～里山を子供たちに残すために～

- (1) 水田耕作の保全と回復
  - ① 農家への支援
  - ② 市民による水田耕作への参加支援
- (2) 湧水と湿地の保全と回復
  - ① 湧水と湿地の調査・整備
  - ② 病院計画における湿地環境の保全
- (3) 雑木林の維持・保全
  - ① 市民の森制度の活用
  - ② みどりのボランティアの養成
  - ③ サンバの営巣する森の保全
- (4) 里山の生き物の調査・保全活動
  - ① 生物多様性モニタリング調査
  - ② 希少生物生息地の保全
- (5) 関連部署を横断的に統括するプロジェクト・チームの立ち上げ
- (6) 環境省の「自然共生サイト」の認定



ハシバミが営巣する里山の森

## 実現に向けたロードマップ



※市民・市役所・地元といった多様な主体の協力が大切!!!

今は、市や議員さんが動かざるを得なくなるくらいのボトムアップの賛同が大事なフェーズ

## ふるまぎ里山ミュージアムを実現させる会

- 目的： ふるまぎ里山ミュージアム構想の実現
- 会員： 運営会員 実現させる会の運営に参加  
賛同会員 イベントや署名運動に参加
- 総会： 年に一度実施---事業報告、会計報告
- 共同代表： 4名
- 事務局： 1名
- 活動資金： 寄付金を募る

## これまでのイベント

- ▶ 発足集会 3月15日 (58名参加)
- ▶ 春のふるまぎ観察会 5月5日 (60名参加)

## 今後のイベント予定

- ▶ ホタル観察会 7月21日

詳しくはこちら ⇒



古間木の里山を守る活動に  
ご協力お願いいたします

